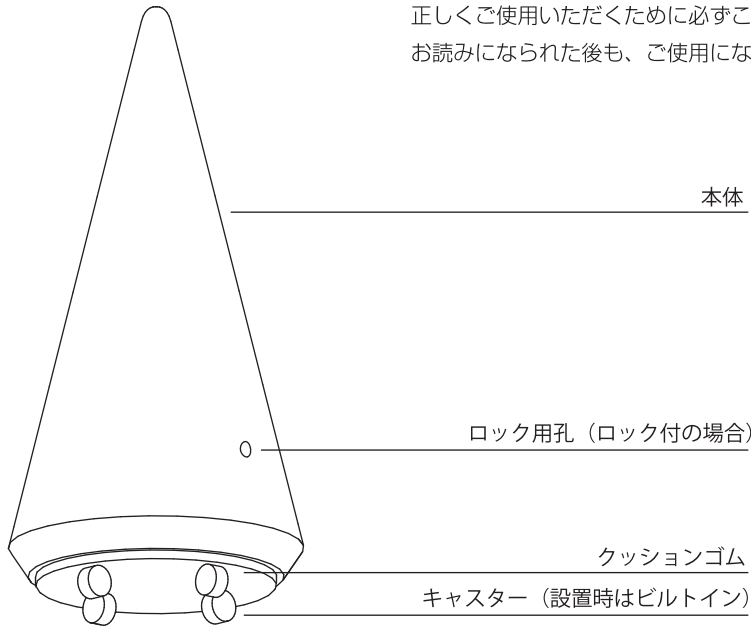


この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになられた後も、ご使用になる方がいつでも見られるところに保管してください。

各部の名称



安全上の注意

- 警告** 誤った取り扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの
- 注意** 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり物的損害の可能性のあるもの

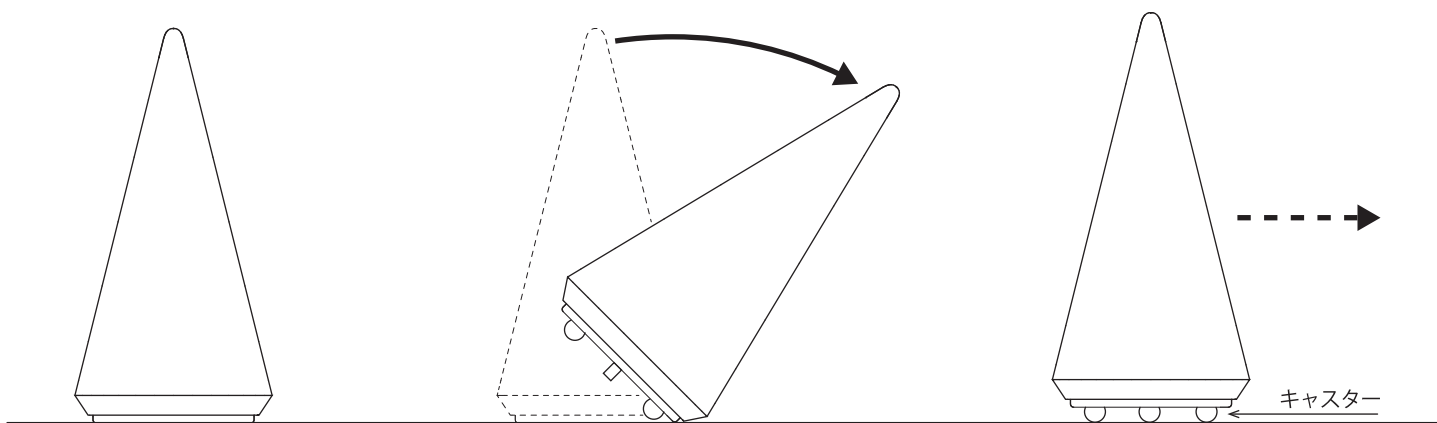
警告

- 改造はしないでください。また修理技術者以外の方は、分解したり修理をしないでください。(けがの原因)
- 子供だけで使わせたり、幼児の手に届くところで使用しないでください。(けがの原因)
- 風呂、シャワー室での使用や水洗い掃除を絶対にしないでください。(けがの原因) 水につけたり、掛けたりしないでください。(劣化の原因)
- 製品の上に立ったり、足を掛けたり飛び乗ったりしないでください。転倒して怪我をする恐れがあります。(けがの原因)
- 横方向に強い力を掛けないでください。転倒して怪我をする恐れがあります。(けがの原因)
- 故意にゆすらないでください。転倒して怪我をする恐れがあります。(けがの原因)
- 製品表面に傷やクラック(ひび割れ)などがあった場合、ただちに使用を中止してください。破損により怪我をする恐れがあります。(けがの原因)
- 製品で遊ばないでください。乗るものではないので、転倒して怪我の恐れがあります。(けがの原因)

注意

- 落としたり物をぶつけたりしないでください。周囲の床や壁、製品に傷などが発生し、けがをする恐れがあります。
- 本品を移動する場合は抱えるようにしっかりと持ってください。落下して床や壁、製品に傷などが発生し怪我をする恐れがあります。
- ビスのゆるみはガタツキや手を傷つけたり、思わぬ不具合の発生の原因となります。確実に固定してください。
- 定期的に(1か月に1回程度、ご使用頻度が多い場合は1週間に1回程度)各部のネジなどの締め付けを確認して頂き、緩んでいれば締め付けてください。
- お手入れをするときは、ベンジン、シンナー、アルコール、灯油などの溶剤や薬品類、磨き粉などは使用しないでください。
- 不安定な場所に置かないでください。(けがの原因)
- 化粧品や整髪料などがついた場合は必ずお手入れしてください。(劣化の原因)
- 鋭利な部品や角部があります。取扱時にご注意ください。
- 長時間紫外線に晒されることにより表面が変色したり、ひび割れ(クラック)などが起きる可能性があります。
- 接着剤やテープなどの粘着剤に含まれる成分により反応を起こし、変形、割れ、変色など破損の原因となる場合がありますので、ご使用にならないでください。
- 養生テープをご使用になる場合は、ビニールや紙など影響が少ないもので表面を覆い、その上に巻いてください。
- サウナで使用しないでください。本体に錆びが発生したり破損したりやけどの原因になります。
- 火気に近づけないでください。火災や変形の原因となります。
- ご使用毎に下部のクッションゴムが確実に取り付けられていることを確認してください。クッションゴムが外れていると床に傷がつく原因になります。

使用方法 イラストは UMF-100 ですが UMF-101 も使用方法は同じです。

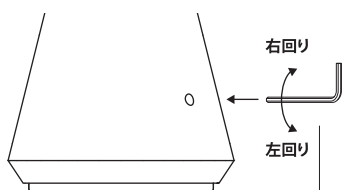


設置時：この状態でご使用ください。
(キャスターの出た状態で放置しないでください)

1 本体を約 45°傾けるとキャスターが出てきます。

2 目的の位置まで移動します。
※移動時のみキャスターを出してください。

3 本体を約 45°傾け元に戻すとキャスターが自動的に収納されます。



ロック付の場合

いたずら防止のため、キャスターが出ないようにロックすることができます。
ロックする場合は六角レンチを差し、押し込みながら右に回し、解除の際は左に回してください。

六角レンチ (6mm 別売)

お手入れ方法

- 汚れは乾いた柔らかい布で拭き取ります。汚れがひどいときには薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取った後、洗剤が残らないように水拭きした上で乾拭きしてください。
- 埃が積もると錆が出やすくなりますので時々埃を取り除いたり、柔らかい布などで拭いたりして汚れが残らないようにしてください。
- 雨水などで濡れた場合はそのまま放置せず、必ず柔らかい布などで拭き取ってください。
- 酸性洗剤や塩素系洗剤はご使用にならないでください。
- 製品の除菌方法と注意点について。

新型コロナウイルス感染対策「家庭用塩素系漂白剤及び住宅・家具用洗剤、台所用合成洗剤」に関する使い方について厚生労働省及び経済産業省より、新型コロナウイルス感染症の予防法として「手で触れる共有部分の消毒」が推奨されております。お客様ご自身でできる感染予防として、お知らせいたします。以下の点にご注意いただき、感染予防にお役立てください。

【消毒方法】

上記お手入れ方法により汚れを取り除いたのちに、

- 家庭用塩素系漂白剤(ハイターなど)を次亜塩素酸ナトリウムが 0.05%になるように薄めたものを柔らかい布などに染み込ませて拭き、その後水拭きをしてしっかりふき取ってください。

(塩素系表消剤はメーカーにより次亜塩素酸の配合率が異なります。厚生労働省 HP などを参照ください。)

参考資料 厚生労働省 HP：家庭用塩素系漂白剤での消毒液の作り方 <https://www.mhlw.go.jp/content/000617981.pdf>

【注意事項】

- 家庭用塩素系漂白剤は残ってしまうと表面の変色や凹凸などの変形の原因となります。
- その他消毒液としてアルコール成分を含む消毒液がありますが、アルコール成分は有機溶剤となります。塗装面や樹脂を傷め、表面の変色や割れが起ることがあります。

【警告】

- アルコールなどは有機溶剤であり、消毒などを目的として樹脂製品(特にアクリル系樹脂など)に塗布や吹き付けると、表面に変色や割れが起ることがあります。このまま使用すると思わぬ怪我の原因となりますので、絶対にアルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。

●故障かな?と思った時

- 使用中に本体がガタつく。→クッションゴムが外れていませんか?嵌め直してください。